



川下小学校



二次元コードから
閲覧可能です。

地域と学校は 対等な立場の パートナー !!



文部科学省は、中央教育審議会の答申(2015/12/21)で、「学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進方策」を次のように述べています。『学校と地域は、お互いの役割を認識しつつ、共有した目標に向かって、対等な立場の下で共に活動する協働関係を築くことが重要であり、パートナーとして相互に連携・協働していくことを通じて、社会総がかりでの教育の実現を図っていくことが必要である。』



新一年生の生活支援を 地域住民が 積極的に行っている 川下小学校を紹介します！



なるほど…。優しく教えてくれてありがとう。<子供>

岩国市教育委員会から承認された「とどける家庭教育支援員」さんや「読み聞かせの会」の皆さんには本当に感謝しています。入学式の翌日は雨で6名もの方がお手伝いに来てくださいました。給食のお手伝いもしてくださいます。ありがたいです。 <教員>



傘は、こうしてたたむのですよ。一緒にやってみようね。 <地域住民>

トイレの使い方よく分かったよ。教えてくれてありがとう。 <子供>

帽子はカバンの中に入れるんだな。水筒はここだな。たくさんあるので大変ですが、丁寧にゆっくりと教えてもらって嬉しいです。 <子供>

学校は楽しいね。お姉ちゃんも楽しいと言っていたよ。 <子供>

上手に使えてよかったね。 <地域住民>

子供はとても可愛いです。笑顔に元気をもらいます。担任の先生にも、気軽に話せるので、あまり迷うことはありません。 <地域住民>

お姉ちゃんがいるんだ。楽しくてよかったね。 <地域住民>

川下小の1年生の教室は、笑顔にあふれていました。教職員と地域住民が、会話を交わしながら子供たちに優しく関わっていました。初めての学校生活への不安が、早い段階から解消され、安心し・自信をもって生活している様子が伝わってきました。学校と地域がよきパートナーとして、信頼し合って子供たちに接することで、子供たちは、学校が好きになり、地域が好きになると確信しました。「地域とともにある学校」そのものだと感じました。

